競　技　注　意　事　項

1　競技規則について

本競技会は２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2　競技場への入場（来場）および競技者受付、競技者インフォメーション（ＴＩＣ）について

（1）　開門時刻は8時００分とし､南側大トイレ前通路を開放する。南側大トイレ前通路の開放が終わり次第、競技場 メインスタンドへの入場口 （E階段を開放する。）なお、 競技場内外の通路にあたる部分は 避難経路にあたるので場所取りを禁止する。

（2）　大会当日の選手受付はＴＩＣで7：４５よりおこなう。ＴＩＣは競技場正面出入口付近に設置する。

（3）　スタートリストに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、当該競技の開始６０分前までに本部へ申し出ること。なお、スタートリストの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

3　練習について

（1）　練習は競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。

（2）　グラウンド内全体を競技区域とし、入場できるのは、ウォーミングアップ時を含め本競技会に参加する競技者のみとする。また、移動時を除き指導者・引率者等の立ち入りを認めない。
※指導者・引率者等は競技場内のスタンドから助言（指導）を行うこと。

（3）　競技開始前のトラック全周を使用しての練習は9時２０分までとする。但し、開会式の時間帯は競技場内での練習はできない。

（4）　周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

（5）　練習用ハードルは以下の様に設置する。

種　目	時　間	場　所
中学女子１００mH	８：４５～　９：１５	ホームストレート
中学男子１１０mH	１２：００～１３：１５	バックストレート

（6）　フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行う。

（7）　練習に必要な用器具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

4　アスリートビブスについて

（1）　アスリートビブスは､配布されたものをそのまま使用し､胸と背中に確実に固定すること｡(跳躍競技は、胸または背部のどちらか一方でよい｡)

（2）　トラック競技に出場する競技者は、配布された腰ナンバー標識（１枚）を右腰やや後方につけること。（リレー競技はアンカーのみつける）

5　招集について

（1）　招集所を１００mスタート地点後方に設置する。

①　競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・腰ナンバー標識（トラック競技のみ）のチェックを行う。

②　代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を過ぎた場合は当該種目を棄権したものとして処理する。

（2）　各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。

（3）　リレーオーダー用紙の提出締切時刻は最初の組の招集完了時刻の６０分前とする。リレーオーダー用紙は、招集所に用意してあるものを使用し、１部を作成し競技者係へ提出すること。

（4） 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・代表者を通じて、当該競技開始時刻の６０分前までに競技者係（招集所：１００mスタート地点後方）に申し出ること。

6　競技方法について

（1） トラック競技

① トラック競技はタイムレース形式で順位を決定する。ただし、１００mおよび4×１００mRに限り予選ラウンドを実施し、上位8名で決勝をおこなう。

② トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。

③ レーン順はプログラム記載順どおりとする。

④ 不正スタートをした競技者は失格とする。ただし、小学生は同一競技者が2回の不正スタートをした場合失格とする。ただし、その競技者は競技には参加させ、記録は参考記録とする。

1. 不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは、出発係が口頭にて注意を与える。（グリーンカードを提示する。）同一の競技者が同一レースで不適切行為を繰り返した場合は、スタート審判長がイエローカードを提示し警告を与えることがある。
2. 競技会の中で2度の警告が与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される。※競技会を通しての累積である。
3. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該競技は失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。

⑤ 短距離走・ハードル走・リレーにおいては任意でスターティングブロックを使用することができる。

⑥ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。

⑦ リレーのメンバー変更についてメンバーのうち少なくとも２人は、そのリレーチームに登録した競技者でなければならない。この要件を満たしている限りは、同一団体で他の種目にエントリーしている競技者を出場させることもできる（TR24.10）。複数チームをエントリーしている場合はチーム間でのメンバー移動を認めるが、同一の競技者が複数のチームで出場することはできない。

⑧ リレーにおける第1，第2，第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまること。

⑨ リレーで使用するマーカーは各団体で用意し、レース終了後は必ずはがすこと。

⑩ ８００m以上のスタートはオープンレーンでおこなう。

（2） フィールド競技

① フィールド競技はトップ8を実施し順位を決定する。それ以外は3回の試技でおこなう。

② 跳躍種目の競技者は、助走路の外側（高跳は助走路内）に用意したマーカーを２個まで置くことができる。（走高跳においては、個人で用意すること）

③ 走高跳のバーの上げ方は、以下で実施する。ただし、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

種目	最初の高さ							
男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後最後の１人になるまで 3cm 刻み
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	

④ 投てき種目は、大会要項に記載の規格で行う。

（3） 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が放送によって正式発表されてから３０分以内に、団体の代表者がＴＩＣへ申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

（4） 助力

① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。

② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、ＣＤ、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

③ グラウンド内は全て競技区域とする。したがって、競技中の助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの助言（指導）は、審判長による警告（イエローカード）及び除外（レッドカード）の対象とする。

7 用器具について

競技用具は、主催者が用意したものに限る。

8 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm（走高跳は１２mm）以内とし、いずれの場合もスパイクピンの数は１１本以内とする。

9 その他

（1） 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。

（2） 届けられた遺失物については、ＴＩＣ（本部）で保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。保管期間は競技終了時までとする。

（3） 盗難防止のため、荷物は各自で責任もって管理すること。

（4） 記録はその都度、アナウンスおよび掲示で発表する。

（5） 競技運営の妨げになるので、 競技場メインスタンド下通路およびホームストレートの通行を禁止する。

（6） 更衣室内の場所取りを禁止する。 また、更衣室を利用する際は 競技場内扉から出入をすること。

（7） 前日からの場所取りは行わないこと。